

## 120413 地上のツバメ

南河内地区にはたくさんの農地で耕作が続けられています。

春になると南から「ツバメ」が渡ってきて、軒下などで営巣している姿をあちこちで見かけますが、地上に降りている彼らの姿を見ることは少ないですね…

### ◆写真①～④：ツバメ

◇最近、子どもたちに「ツバメ」って知ってる？ と聞くと、ほとんどの子は「知ってる」と答えるのですが、飛んでいるところや電線に止まっているところ、巣に止まっているところを見たことはあっても、地面に降りている姿を見た子はほとんどいないようです…

いったいどうしてでしょうか？

◇ツバメは飛翔テクニックは抜群なのですが、地上を歩くのは苦手みたいです…水を飲むときも、水際に降りることなく、池などの水面すれすれを滑空しながら、わずかに水面に口を付けて飲んでいるのです。

◇でも…

巣づくりをするときの巣材を集めるときは、田んぼなどに降りて、泥やわらを集めています。

◇都会では「ツバメ」の姿を見ることは難しくなってきましたが、餌となる飛翔昆虫が少ないことだけが理由ではなく、巣材を集める農地が少なくなってしまったことも大きな理由だと思います。

◇これでは子どもたちが地面に降りたツバメの姿を見たことがない、というのも仕方のないことかも知れません。

◇4枚目の写真には2羽写っていますが、右側の個体はまさに飛び立った瞬間をとらえたものです。

### ◆写真⑤・⑥：「在来タンポポ」

◇ため池の土手にたくさんのタンポポが開花し始めていました。

◇嬉しいことに、ここの株はいずれも「在来種」でした。











